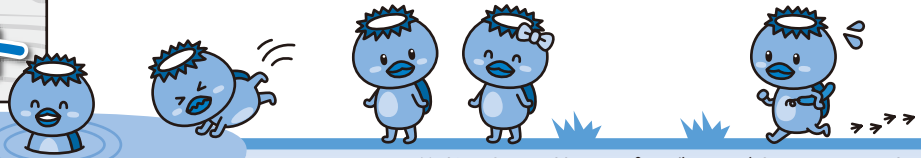


クイズ & アンケート



今月のプレゼントは

『社会福祉協議会・障がい者通所施設自主制作作品セット』 5名様

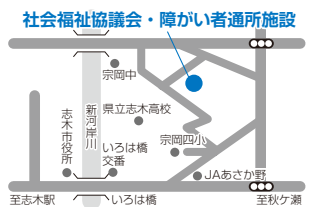
志木市社会福祉協議会・障がい者通所施設は、18歳以上の障がいのある人が、その特性や意向を踏まえた訓練や内職作業、食堂運営やお菓子作りなど、働く場として通う施設です。施設で販売している商品一つ一つがそのメンバーによる手作り品で、ちょっとしたプレゼントとしても好評です。

総合福祉センター1階や市内イベントで販売しているほか、ご注文も承ります。ぜひ、お問い合わせください。

社会福祉協議会・障がい者通所施設 (上宗岡1-5-1)
総合福祉センター1階
8時30分～17時15分
定休日/土・日曜日、祝休日
☎048(486)1880
HP <http://www.shiki-syakyo.or.jp/>



▲アクリルたわし、カパル在バッチ、手作りクッキー
※デザイン、種類を選べます



回答者の中から抽選でプレゼントが当たります。当選の発表は、引換券の発送をもって代えさせていただきます。届いた引換券をお店まで持参のうえ、プレゼントと交換をしてください。

○今月の広報紙クイズ

Q 未来を担う子どもたちが主役となるようなイベントを実施する部会は？

ヒント…36ページ (裏表紙)

〇〇ジョイント部会

(先月号の答え:248)

○アンケート

- Q1** 今月号で良かった内容や写真を教えてください。
- Q2** 取り上げて欲しい内容や企画を教えてください。
- Q3** 広報紙に関するご意見・ご感想をお聞かせください。

— 応募方法

次の①～⑥を記入(必須)のうえ、ハガキ、お便り、メール、または申込フォームQRコードからご応募ください。

- ①クイズの〇に入る言葉、②アンケートの回答、③住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号

<宛先> 〒353-8501 志木市中宗岡1-1-1
志木市役所市政情報課「広報しき5月号」係
✉ koho@city.shiki.lg.jp

<締切> 5月20日(月)※消印有効

※プレゼントの受渡しにあたり、当選者の名前や住所の一部をプレゼント提供者へお伝えすることを予めご了承ください。

▶申込フォーム



新たな時代へ

元号が「平成」から「令和」に改まり、先日は紙幣のデザインが新しくなることが発表されるなど、新たな時代の幕が開け、志木市も力強く前進していかなければならないとの思いを新たにしています。

市役所でも新規採用職員として、高卒者、大卒者、社会人経験者と幅広い人材が入庁し、辞令交付式では、これまでの経験を生かした新しい政策の提案など、知恵を出すことの重要性を伝えました。

さて、少子高齢化は全国的な課題ですが、志木市でも高齢化率が24%を超え、税収の確保も難しくなっていくなか、公共施設の更新や維持といったマネジメントは、市が取り組まなければならない大きなテーマの一つです。

これまでの取組として、例えば、毎年およそ3～9億円もの赤字を補填していた市民病院については、民間に移譲しTMG宗岡中央病院としてリニューアルしたことで新たな地域

医療の展開にもつながり、市民に喜ばれる病院となりました。

また、福祉センター跡地を民間事業者に無償で貸し出すことで、志木市初の障がい者グループホーム「しびらきハウス志木彩の杜」が4月にオープンするとともに、障がい者がパンを作り、販売も行うことができる施設も隣接してオープンする予定で、障がい者の地域での自立に向けた一大拠点が整備されます。

このほか、新たな民間保育園「館第一すぎのこ保育園」を志木第二小学校の敷地の一部に誘致したことで、新たに保育定員を90人増やすことができ、このことは高齢化が進むニュータウンに若者を呼び込むきっかけにもなると期待しています。

このように、これからの公共施設マネジメントには、すべての施設を市が整備するのではなく、民間にできることは民間に任せるなど、これまでの慣習を見直すといった柔軟かつ大胆な発想が求められます。

現状を変え、新たなチャレンジを行う時、批判的な意見をいただくことも少なくはありませんが、郷土志木を次世代につなげていくためには、いかに限られた資源を有効活用するか、知恵を絞っていかなければなりません。

現状を変え、新たなチャレンジを行う時、批判的な意見をいただくことも少なくはありませんが、郷土志木を次世代につなげていくためには、いかに限られた資源を有効活用するか、知恵を絞っていかなければなりません。

令和元年。気持ちを新たに、信念を持ってさらなるチャレンジを続けます。



▲新規採用職員辞令交付式での決意表明の様子